

## 平成 28 年度学内教育 GP プログラム事業経費 成果報告書

区 分	継続型
事業名称	「キャリアデザインプログラム」の浸透およびコンピテンシー評価プログラム 「My Portfolio」の利用促進
取組代表者名 担当者名	学生・キャリア支援センター 副センター長 作田 正明 学生・キャリア支援センター センター長 副学長 高崎 みどり 学生・キャリア支援センター 准教授 中川 まり 学生・キャリア支援センター 特任講師 川端 由美子 学生・キャリア支援課 課長 富山 弘 学生・キャリア支援課 副課長 脇 紀夫

### 1. 成果の概要

実施した事業の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、当初設定した目的・目標に照らし、3 ページ以内で、できるだけ分かりやすく記述すること。必要に応じ、図表を用いても構いません。

#### 【具体的内容】

本事業は平成 24 年度～26 年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実整備事業（以下「産業界ニーズ」）」キャリア教育カリキュラム「キャリアデザインプログラム」の浸透と評価プログラム「My Portfolio」の利用促進を目的として実施した。

目的に基づいて次の 2 点を実施した。

1. グローバルリーダーシップ研究所と連携して、平成 28 年度中に履修実績と調査をふまえた基幹科目の再編を行い、平成 29 年度より再編後のプログラムに基づいたキャリアデザインプログラム基幹科目を開講した。再編後のプログラムは、学内電子掲示板や HP において広く学生広報を行うとともに、新入生オリエンテーションやお茶の水女子大学論などで学生に周知した。その際には、どのキャリアデザインプログラム科目がどのような基礎力（コンピテンシー）を高めるのかをわかりやすく説明した。

2. 「My Portfolio」が学生にとってより使いやすく、自己分析のための有効な評価システムとなるようにシステム改修を行い、改修後は利用を促進すべく学内広報を行った。

改修内容は、2 点である。

(1) コンピテンシー分析の回答項目の簡素化（27 個の質問において、それぞれ 9 件の回答選択肢から 5 件法にして回答項目を簡素化）

(2) コンピテンシー分析の途中保存機能の追加

「My Portfolio」は就業力の基礎となる思考・行動特性「コンピテンシー」を測定・評価し、主観的に自己の基礎力を省察することに役立つ。

本事業は、中期計画の 28 年度計画「キャリア教育の拡充」【K15】を実施するものであった。

### 【効果・意義】

本事業による直接効果および意義は以下の2点であった。

1. キャリアデザインプログラムについて、これまでの学生からの評価を取り入れて改修を図ることで、履修者数を増やすことができた。これを踏まえ、直接効果として、学生がこれらの科目の履修によってコンピテンシーを高めながら、キャリアを見通して学修計画を立て、大学での専門性および教養を実社会で発揮する力を高めうる点で意義がある。

2. 「My Portfolio」の利用者および利用頻度が増加することで、就業力の基礎となる思考・行動特性「コンピテンシー」を測定・評価し、主観的に自己の基礎力を省察するとともに、自己のコンピテンシーへの気づきも得られる点に効果がある。そしてこの自己省察に基づいて、学生生活を通じた活動やキャリアデザインプログラム基幹科目の受講をし、自己のコンピテンシーをさらに高めるように努めることを促すことができる。これらを通じた学生の就業力の涵養という点で意義がある。

### 2. 今後の取組み継続に係る実施体制及び資金確保の状況について

本経費は、学外の競争的資金等によるプロジェクトで、プロジェクト実施期間終了後も引き続き取組みを継続するための体制を整備するために配分されたものです。本経費の支援期間終了後の実施体制及び資金確保の状況について記述してください。

今後の取組み継続に係る実施体制は、学生・キャリア支援センターおよび学生・キャリア支援課にてキャリア教育業務の1つとして継続して担当する。  
資金は、運営費交付金による学生・キャリア支援センターに配分された予算を確保する。